

讃美歌 118 番「くしきほしよ」

1. くしきほしよ やみのよに
いよよひかり かがやき
すくいぬしの ます村に
とくみちびき ゆけかし

2. 窓もるかぜ いとさむき
かいばおけに 臥したもう
みどりごこそ かしこくも
きみのきみに ましませ

3. さらばわれら うみやまの
またまこがね しろがね
においものを とりあつめ
ささぐべきか みまえに

4. たぐいあらぬ たからさえ
たてまつるに 足らねど
まずしき身の **ほめうた**を
主はよろこび 受けまさん

原歌詞

出典 https://library.timelesstruths.org/music/Brightest_and_Best/

Brightest and best of the sons of the morning,
Dawn on our darkness and lend us Thine aid;
Star of the East, the horizon adorning,
Guide where our infant Redeemer is laid.

Cold on His cradle the dewdrops are shining;
Low lies His head with the beasts of the stall;
Angels **adore** Him in slumber reclining,
Maker and Monarch and Savior of all!

Say, shall we yield Him, in costly devotion,
Odors of Edom and offerings divine?
Gems of the mountain and pearls of the ocean,
Myrrh from the forest, or gold from the mine?

Vainly we offer each ample oblation,
Vainly with gifts would His favor secure;
Richer by far is the heart's **adoration**,
Dearer to God are the prayers of **the poor**.

「大塚野百合氏私訳」に岡本が手を加えた私訳

出典 大塚野百合『「きよこのよる」ものがたり』 P.148ff

この上なく輝かしき明けの明星よ、
私たちを覆う闇を去らせ、私たちを助けてください。
地平線を晴れ渡らせ飾る東の星よ、
私たちの幼い救い主の元へと導いてください。

寒さの中、主の揺りかごには露のしずくが輝きます。
主はみ頭を低くして家畜小屋の動物たちと一緒にです。
天使たちは、横になりすやすや寝むる主を**あがめます**。
すべてのものの創造者、支配者であり、救い主を。

私たちは主に高価な捧げ物を差し出すべきでしょうか？
エドムの香料や尊い捧げもの、
山からの宝石、海の真珠、
森の没薬や鉱山からの黄金などを。

私たちがそれらをふんだんに捧げても無駄です。
贈り物で主の恵みを得ようとするのは空しいです。
遥かに**高貴**なことは、心から主を**愛し敬慕すること**です。
貧しき者の祈りをこそ、神は重んじ愛されます。